

質問順		第539回 令和6年9月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
1	1	織田 昭雄	(1) 町の空き家対策の現状について	①	老朽化が激しく住むことができない空き家の軒数を、町は把握しているか。	町長
				②	別荘の多い集落では、相続放棄された空き家の別荘が問題となっている。実態を調査すべきと思うが町の考えは。	
				③	空き家対策特別措置法に基づき、何らかの措置が必要な空き家について、町はその実態を把握しているか。具体的に何軒が対象となるか。	
			(2) 集落内の一級河川の管理状況について	①	集落内を流れる県管理の一級河川において、支障木やヨシなどの除去作業を行う際の基準はあるか。また、町内には何本の一級河川があり、河川巡視員がどの程度の頻度でパトロールを行っているか。	町長
				②	県から委嘱されている河川巡視員は、具体的にどのような活動を行っているのか、町はその実態を把握しているか。また、巡視員から県への報告は、必ず町を経由して行われるものか。	
				③	近年の地球温暖化による異常な降雨に備え、河川敷や河川周辺の支障木処理を、県に要望している箇所はあるか。また、対策を予定している箇所はあるか。	
			(3) 南海トラフ巨大地震への備えについて	①	気象庁から南海トラフ地震注意情報が発表されたが、町は町民に対してどのような対応をしていくのか。	町長
				②	気象庁からの臨時情報が発表されたと同時に、町内のスーパーでは飲料水や防災グッズなどが大量に購入され、陳列棚が空になる現象が起きている。このような状況を町はどのように捉え、対策を検討しているか。	
				③	町は大規模災害に備え、飲料水や食料品、防災グッズ、簡易トイレなどの備蓄状況は万全か。	

質問順		第539回 令和6年9月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
2	6	渡辺 葉	(1) 少子化対策と移住定住促進の関係性について	①	母子手帳発行数から予想される令和6年度の出生数は。	町長
				②	出生数は減少しても社会増で子どもの数が維持されている状況もある。子育て世代の転入にこれまで以上に力を入れる必要があると思われるが、町の考えは。	
				③	戸建賃貸やファミリー向けアパート物件が少ないことで、まずは賃貸物件を求める子育て世代の移住定住希望者を取りこぼしている実態があるが、町が考える対策は。	
			(2) 入区率向上など地域の課題解決にも繋がる移住施策について	①	集落から空き家情報が出てこない要因のひとつとして、移住者対応が集落の負担となっている現状もある。集落の活動に参加したいと思う子育て世代をターゲットとした移住定住PRや、入区率向上に向けた取り組みを通し、移住施策を地域課題(正区民減少による集落の担い手不足など)の解決に繋げる考えは。	町長
				②	集落での暮らしについてイラストなどを活用し移住検討者にも分かりやすく伝え、行事日程の概要や区長メッセージなども掲載した、集落ごとの特色を魅せる案内を作る考えは。	
				③	転入後も移住者からの相談に応じ、助言や指導ができる「移住サポーター」として集落支援員を旧村単位で配置し、移住者と地域の関係構築を支援する考えは。	
				④	より多くの方が入区しやすくなるための負担軽減を促進するために、町が区へお願いしている役を減らす、区未加入者へのアンケート実施、その結果や事例共有などを検討する考えは。	
			(3) 子育て世代の移住定住者の住まいとしての戸建賃貸・宅地整備について	①	空き家を定期借上げまたは購入しリフォームすることで戸建賃貸を生み出し、地域が必要とする人材に優先的に物件を紹介するまちづくり会社設立を目標とした、地域おこし協力隊や集落支援員の募集に対する町の考えは。	町長
				②	富士見ヶ丘教員住宅などを解体、町有地利活用提案型売払いを公募し、一戸建てやファミリー向けアパート用に条件の良い宅地を生み出す考えは。	
				③	老朽化が激しく再利用は難しいが立地の良い空き家を解体し宅地として循環させるために、解体後の固定資産税の減免や、跡地活用・流通促進を目的とした解体費への補助金などを検討する考えは。	

質問順		第539回 令和6年9月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会			
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者		
3	10	西 明子	(1) 富士見小学校児童クラブの新設と「放課後の居場所づくり」事業について	①	今年度利用申込み数が急増したということだが、申込み者が定員を超えている状況はいつからか。登校日利用者数、長期休暇のみの利用者数、最大利用者数のこれまでの推移は。	教育長		
				②	児童クラブ利用増の状況にはこれまでどのように対策が講じられてきたか。			
				③	児童クラブの職員同士の情報共有や職員研修はどのように行われているか。特に長期休業中は、子どもの利用時間が長い一方、学生のアルバイトなど指導員や補助員の入れ替わりがあるなかで、どのような工夫がされているか。			
				④	令和元年策定の「子ども・子育て支援事業計画」では児童クラブ利用者数の増加による施設の狭隘化の対策として、「放課後の居場所づくり」事業を進め、利用者の分散化を図る、とあるが、「放課後の居場所づくり」事業の利用者数、周知状況、課題は。			
				⑤	こども家庭庁では、こどもの居場所づくり支援体制強化事業として、居場所の実態調査・把握支援、広報啓発活動支援、こどもの居場所づくりコーディネーターの配置等の支援を3年間で集中して行うということだが、こうした事業を活用する考えは。			
		(2) 自転車の利用について	①	中学生の通学時の自転車利用の許可状況は。	町長 教育長			
			②	「富士見町都市計画マスタープラン」における自転車利用の位置づけは。				
			③	「富士見町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の中に、自転車利用を位置づける考えは。				
			④	交通手段として自転車の可能性は。				
		(3) 高校と町との協働、今後の道筋は	①	高校魅力化を行う先進自治体では、高校再編や学校の統廃合に対して何も手を打たなかった場合、人口減少等、地域に与える影響を「成り行き未来」として見える化する事例がある。富士見町でもこうした取組を実施するのはどうか。	町長			
			②	高校と町と多様な主体による、協働のビジョンを作成する予定は。				
			③	委託型の地域おこし協力隊の方がコーディネーター的な役割を担っていると考えるが、今後どのような役割を期待できるか。				
		4	9	小倉 裕子	(1) 「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の地域医療機関支援事業について	①	現在、富士見高原病院は、外来患者の約半分を隣接する市町村の患者が占めている。しかし、「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の地域医療機関支援事業では、富士見町のみが事業費を計上している。他の2市村にも協力を要請することはできないか。	町長
					(2) 町有観光施設の人材育成は	①	町が関与する町内の観光施設は複数あり、改修が予定されている施設もある。観光による賑わい創設には施設の改修も重要であるが、その効果を十分に発揮させるには人材育成も重要な要素となる。町有観光施設安全対策等委託事業の実施状況は。実施により認識された問題点とその対応は。	町長
					(3) 多発する災害情報を確実に町民へ届ける必要性和手段について	①	災害級の風雨雪時には、防災無線は聞き取れない。やはり確実に町民全てに情報が届く手段が必要だと思うがどうか。	町長
②	双方向伝達手段が可能な新機能を有する告知放送機器の導入をしたら、維持管理に不安はあるか。町内に町民が運営する「情報センター」を作り、設置・運営・メンテナンスを行っていくことは可能だと思うが、不安の払しょくにはつながらないか。							
③	現在数社から提供されている告知放送機器は動画を見ることが出来るものもある。富士見町の危険箇所等にカメラを設置し、その画像を自宅で確認することができれば、事故に巻き込まれる心配も減り、状況の把握もできると思うが、どう考えるか。							

質問順		第539回 令和6年9月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
5	2	山口 肇	(1) 6月26日に実施された「下校時避難訓練」について	①	今回の「下校時避難訓練」の評価と課題は。	教育長
				②	各学校では、どのような事前学習が行われたか。	
				③	今後、どのように防災教育を実施していくのか。	
				④	町や地域の防災マップ作りに、子どもたちが参加する計画は。	
		(2) 中学校の部活動の地域移行について	①	「年内に休日地域移行へ」との新聞報道があったが、今後の推進日程は。	教育長	
			②	文部科学省のモデル事業の実証実験の内容はどのようなものか。		
			③	今後、保護者や生徒への説明会、アンケート調査が実施されるが、保護者や生徒の意見により計画変更の可能性はあるのか。		
		(3) 子どもの意見表明権について	①	子どもの話や訴えを「きく」ということをどのように捉えているか。	町長 教育長	
			②	審議会や検討委員会に、子どもが参加し、意見表明する機会をつくる自治体が増えているが、富士見町の計画はあるか。		
③	子どもの周りにいる大人の存在が重要と言われている。教員や支援員等、子どもの支援に関わる人の研修の計画は。					
6	5	牛山 吉彦	(1) 町内で多発する交通事故への対応について	①	役場下交差点における交通事故が多発しているが、町や県などの捉え方と解消方針は。	町長
				②	長野県は横断歩道一時停止1位にも関わらず、役場下交差点での事故多発とのギャップをどう捉えているのか。	
				③	ラウンドアバウト(環状交差点)導入について町の意向は。	
		(2) 運転免許証自主返納者へのケアについて	①	高齢ドライバーに対する町の方針は。	町長	
			②	免許自主返納者支援施策の現状と評価は。		
			③	町の方針と支援施策は一致しているか。今後支援を手厚くする予定は。		
		(3) 誰もが安心して利用できる「地域公共交通」実現に向けて	①	コミュニティバス実行運行の今年の方針は。来年度実施予定の検討会の概要は。	町長	
			②	「現存する2大リゾート送迎バスの活用を」との声もあるが、町の意向は。		
			③	「富士見町地域公共交通会議」の現状と今後の方針は。		
7	7	名取 久仁春	(1) ハヶ岳観光と創造の森整備について	①	令和5年度に策定した「富士見高原創造の森整備計画」の、年度毎の事業内容と予算規模の概要は。	町長
				②	見込み集客数は。	
9月2日(月) 4名 1番～4番 3日(火) 3名 5番～7番						